

【水の里の旅コンテスト2016 応募企画】

【学生部門】

奈良県立西の京高等学校 地域創生コース
井戸 隼太

美しい水が生まれる村・野迫川で「あまごまつり」
～あまご・温泉・雲海にふれあえる体験型旅行へご招待～

観光地域：奈良県野迫川村

| | | | |
|--|-------------------------------|--|--------------|
| 【日程】 | 1泊2日 | | |
| 【実施時期】 | 夏 | | |
| 【催行人員】 | 20名（最少催行人員：2名） | 【お勧めする旅行者層】 | 都会の小学生層の親子連れ |
| 【旅行代金】 | 15,800円 （雲海見学無し） | 【内訳】 ホテル代 10,800円（ホテルの通常料金） 交通代 2,000円 | |
| | 16,800円 （雲海見学あり） （大人1名） | あまご体験 3,000円（地域の方への謝礼・準備代・昼食代など） （雲海見学 1,000円） ※1名で1室使用は+1,080円 | |
| 【企画趣旨（伝えたいポイント及び旅行者が満足するポイント）】 | | | |
| <p>美しい水で育まれた環境・食を通じて、さまざまな角度から「水の里」について考え、知っていただき、五感で体験していただく体験型の旅行企画です。</p> <p>奥高野と呼ばれる野迫川村。村を起点に川の水は十津川へと流れていきます。村の水は水源地に近く、とても清らかで、まさに『美しい水が生まれる村』に相応しいです。「川はもともと、こんなに透き通っているんだ！」ということを感じていただき、住んでいる地域と比べていただいたうえで、「どうしてうちの近くの川は濁っているのだろうか？」「どうすればこのきれいな水を下流域まで持っていくことができるだろう？」ということも少しでも考えていただければと考えています。また、この辺りは標高が高く、夏は避暑地としても知られています。この環境で、清流に入り、川魚を獲ることができることは、都会の子供には非常に貴重な体験です。また、川魚という食の面にもふれることで、より身近に地球の環境の循環システムを感じていただきます。</p> <p>アマゴの体験では、つかみ取りや釣りを実施します。「弟は小さいが僕はもう中学生だからつかみ取りはちょっと・・・」という子も、釣り体験がありますので、家族全員で楽しく参加していただけます。</p> <p>昼食などは、地域の方に名産のわさびやシイタケを使った料理（例えば、めはりずし）を作っていただき、地域の方と一緒にご飯を食べさせていただきます。このことで、地域の人と仲良くなれるほか、地域の歴史なども聞くことができます。</p> <p>体験プログラムのあとは、平維盛歴史の里へ向かいます。小学生層をターゲットにしているということで、夏休みの自由研究の題材にさせていただくこともできるほか、大人にとっては、自分が小学生で行った社会見学などを思い出していただき、懐かしんでいただくこともできます。</p> <p>これらに加えて、2日目の早朝には、朝が早いのでオプションとしていますが、「雲海見学」を実施します。野迫川村は条件がそろえば1年中雲海を見ることが出来る日本でも珍しい場所で、夏でも前日の夜に降雨があれば翌朝、雲海が現れることがあります。万が一、雲海が現れなくても朝日が昇る所を見学していただくことが可能です。</p> <p>また、最後まで旅行者に満足していただくために、翌日は午前中までには解散できるようにし、制限をしないことで、旅行者それぞれが行きたい場所に行けるようにしています。行き先（送り先）としては、龍神温泉（龍神温泉・白浜・本宮大社方面へ行くことが可能）・野迫川村役場（空海が高野山を開く前に設けた立里荒神社へ行くことが可能）・奥の院前（高野山観光の拠点の一つ）・高野山駅（大阪市街などの離れた地域へ行かれる方のため）としています。</p> | | | |
| 【安全確保のための配慮】 | | 【旅行者の満足感を高めるための工夫、快い旅行にするための配慮】 | |
| <p>移動に使う車両にAEDを搭載。 活動場所でもAEDを用意。また、救急箱を用意し、応急手当は行えるようにしておく。</p> | | <p>移動中、車内テレビ・アナウンスにて野迫川村の紹介を行います。 また、小学生層を中心としていることから、「水の里」に関する（地球環境の循環システムや川（水）の一生など）レクチャー・クイズを行います。 食事は、地元産の名物（アマゴ・沢わさびなど）を使用します。 昼食では、地域の方に作っていただいたおもてなし料理をいただきます。ここでは、地域の方やガイドも一緒に食事を取り、現地の方と来訪者とのコミュニケーションをとるきっかけを提供します。 復路で複数の行き先を提供することで別の観光地へのアプローチが簡単になるようにしています。</p> | |
| 【企画協力（後援）機関・団体名等】 | 【主な役割】 | 【企画協力（後援）機関・団体名等】 | 【主な役割】 |
| ① 南海国際旅行（予定） | 企画・輸送手配・広報 | ⑤ 民宿かわらび荘（予定） | 昼食 |

| | | | |
|--------------|---|-----------------|------|
| ② 野迫川観光局（予定） | 広報・体験活動 | ⑥野迫川村漁業協同組合（予定） | 体験活動 |
| ③ 野迫川村（予定） | 広報 | ⑦南海りんかんバス（予定） | 輸送 |
| ④ ホテルのせ川（予定） | 宿泊・輸送 | ⑧ | |
| 【特記事項】 | 下の催行実績について・・・現在「あまご釣り大会&つかみ取り大会」（現地集合現地解散）として開催実績ありこのほかに、名産沢わさびの収穫を主にしたプランや、高野豆腐づくり製造体験プランなども構想中。 | | |
| 【催行実績】 | 有り | | |

【 行 程 表 】

| | |
|-----|---|
| 1日目 | <p>11:00 高野山駅前出発</p> <p>11:15 奥の院前バス停出発（ここからの乗車志望者は要事前連絡）（高野山観光後の参加希望の方はこちらから）</p> <p>12:30 あまご体験活動場所到着 あまご体験① →参加者数により2班に分かれる。（A班：あまごつかみ取り・B班：あまご釣り体験）</p> <p>14:00 昼食（アマゴや地元名産の沢わさび、しいたけを使ったおもてなし料理）</p> <p>15:00 あまご体験②（A班：あまご釣り体験・B班：あまごつかみ取り）</p> <p>16:30 終了・出発</p> <p>17:00 平維盛歴史の里 見学</p> <p>18:00 見学終了</p> <p>18:30 ホテル到着 温泉・地元産の料理で癒されます。</p> |
| 2日目 | <p><u>雲海見学（希望者のみ）</u></p> <p>4:30 ホテルのせ川出発</p> <p>5:30 雲海スポットで見学</p> <p>6:30 出発</p> <p>7:30 ホテルのせ川到着</p> <p>7:45 朝食（地元産の食材等を使用）</p> <p>9:20 ホテルのせ川出発</p> <p>10:00 野迫川村役場到着（10:30発 立里荒神社行き（要予約））</p> <p>10:35 奥の院バス停前到着（高野山観光へはこちらで）</p> <p>10:50 高野山駅前到着または、</p> <p>10:30 龍神温泉到着（12:05発 JR 紀伊田辺駅行き・12:10発 栗栖川行き（要予約・終点で本宮大社行きに乗り換え可能）【※運転日注意】）</p> |

【 主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来など） 】

| | | |
|---|--|---|
| 【 小さなお子さんでも楽しめる 】 | 【 清らかで新鮮なめぐみ 】 | 【 平維盛歴史の里 】 |
|  |  |  |

| | | |
|--|---|--|
| <p>【コメント】</p> <p>年齢を問わず、小さなお子さんから参加していただくことが可能です。実際に川に入るのが危ないお子さんには、川岸に、水たまりもしくは大きめの水槽を準備し、そこでつかみ取りを体験していただきます。また、あまり魚が逃げないよう、ある一定の距離を置いて、網を張り、つかみ取りしやすい状況をつくります。</p> <p>サブタイトルにあるような、「ふれあえる体験型」の体験活動です。</p> <p>子どもにとっては、初めて自分の手で魚を捕まえたという喜びが感じられます。</p> | <p>【コメント】</p> <p>「新鮮で生まれたての水」これだけでも十分なめぐみですが、そこで育ったアマゴはなお一層のめぐみです。森からあふれ出たエネルギーで育ったアマゴは野迫川村の名物の一つです。新鮮だからこそ味わえるおいしいアマゴです。</p> <p>昼食時に新鮮なアマゴを塩焼きにして食べます。自分たちで苦労して取ったものなので、なおさらおいしく感じられるでしょう。</p> <p>(獲れなかった場合も想定し、あらかじめ何匹かは準備しておきます)</p> | <p>【コメント】</p> <p>源平の戦いで敗れた平維盛が最期を迎えたとされている地の一つが野迫川村です。ここには資料館があり、レプリカなどで平維盛について歴史を学ぶことが出来ます。この歴史の里の向かいには、里人が維盛の死を悲しみ建立したとされる「勝手神社」というものもあります。</p> <p>小学生の夏休みの自由研究や平家のファンにうってつけの場所です。また、ここでは7月末には「平維盛の大祭」として、花火も打ち上げられます。</p> |
|--|---|--|

【 温泉♨️ 】

【 雲海 】



| |
|---|
| <p>【コメント】</p> <p>川で体験活動した後は、身体が疲れていることでしょう。日常の疲れも併せて癒してくれるのが、温泉です。</p> <p>こちら「ふれあえる体験型」の活動として、温泉とふれあっていただくほか、親子で裸の付き合いをしていただき、普段話せないようなことを話し合ってくださいなどして、より一層充実した旅にさせていただきたいと考えています。</p> |
|---|

| |
|---|
| <p>【コメント】</p> <p>野迫川村は、年中雲海を見ることが出来る日本でも珍しい地域です。もちろん、条件がそろわなければ不可能ですが、見る事が出来なくても、夏場ということで、朝焼けと朝日を標高約 1,000mからのぞんでいただくことが出来ます。</p> <p>こちらは、視覚と触覚で体験していただく体験活動としています。</p> <p>なお、朝が非常に早いため、朝が弱い方に配慮し、オプションツアーとさせていただきます。</p> |
|---|